

アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

バリューゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

『冬のゴルフの秘訣は…』

日本ゴルフツアー機構（JGTO）は昨年未
に、レギュラーツアー25試合、賞金総額は35億
775万円となる2018年今年の男子ツアー
日程を発表した。

女子のほうは、賞金ランキング対象トーナメ
ントであるLPGA（日本女子プロゴルフ協会）
ツアーは38試合が開催され、賞金総額は37億2
500万円で、6年連続過去最高額を更新した。
初戦は3月のダイキンオーキッドレディスゴル
フトーナメントで、開催地は沖縄だ。

男子の日本で開催の初戦は、4月の東建ホー
ムメイトカップ、開催地は三重県となるわけだ
が、それまでは、まだまだ寒い日が続く日本。

今回は、ゴルフ本番までの間の、冬のゴルフ
の注意点を伝えたい。兎にも角にも、冬の
ゴルフ場は寒い。それに、グリーンが凍ったり、
ボールが飛ばなかったり、ティが刺さらなかつ
たり：厚着で思うように体が動かず、悔しい
思いをしたことのあるプレーヤーも多いのでは
ないだろうか。

しかし、視点を変えれば、冬場のゴルフでも
楽しく、またベストスコアを出す可能性がある。
それは、地面が凍っているのでランで飛距離が
稼げたり、ダフリのミスが出にくかったり、グ
リーン周りからパターを使用できたり：など
プラスの面を味方につけることである。

最近のボールは、性能が格段に良くなり、極
寒の中でのプレーでも、寒さの影響で飛距離が
ダウンすることが少なくなっている。飛ばない
原因はボールのせいではなく、寒さで体の柔軟
性が失われ、ヘッドスピードが落ちることが多
いようである。それらのことを防ぐために、ま
ずは、準備運動。ウォーミングアップの要素を
取り入れた素振りをするをお勧めす
る。そして、遠くへ飛ばそうという思いを冬の
ゴルフでは封印し、「飛ばさない」、「乗せない」
ゴルフを目指していくと、まとまったスコアが
出る可能性が高い。

季節に応じた戦略と、ウォーミングアップで、
怪我のない楽しいプレーをしていただきたい。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4
年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、
株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トー
ナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界
に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、
ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサル
ティングなども手掛けている。